

2020年12月5日に開かれた幹事代表委員会は、原住連の当面の活動方向などについて議論、確認した。伊東達也・筆頭代表委員が、代表委員各位にその旨をお知らせした文書を、下記に紹介する。

代表委員 各位

幹事代表委員会の確認のお知らせ

2020年12月5日

筆頭代表委員・伊東達也

<幹事代表委員会の確認事項について>

原発問題住民運動全国連絡センター第34回全国総会・交流集会のコロナ禍による中止という異例の事態を受けて、幹事代表委員会を12月5日、東京都豊島区「東京労働会館」で開催し、次の事項を確認しました。よろしくご了承ください。

記

1、「第34回全国総会・交流集会」は、コロナ感染症拡大という異例の事態を受けて「中止」する。これは規約に抵触するが、やむをえない。

各代表委員には、次期全国総会交流集会まで、引き続き活動の継続をお願いする。

新たに越路南行さん（著書『浜岡原子力発電所の地盤の安全性を検証する』）に代表委員の活動への参加をお願いする。

2、次期全国総会・交流集会までの間、原住連は、東京電力・電気事業連合会・原子力規制委員会への「申し入れ」に述べている関連事項の認識を共有しつつ活動する。

注：三つの「申し入れ」は原住連・情報誌『げんぱつ 381号
12月25日発行』に掲載されている。

原発をなくす全国連絡会が提起した「原発を廃止し、再生可能エネルギーに転換する原発ゼロ基本法の制定を求める請願署名」に取り組む。

3、東京電力・電気事業連合会・原子力規制委員会交渉は延期し、来年2月1日に改めて申し入れる。

4、次期全国総会・交流集会、「全国交流集会 in 福島」は、コロナ禍の状況を見ながら改めて確定することになるが、「全国交流集会 in 福島」は来年の東京五輪後の11月開催（五輪前の開催も含め）の方向で検討する。

次期全国総会・交流集会は、オンライン開催を含め来年度内の開催を検討する。

5、幹事代表委員会は、原住連のこの間の財政について、斎藤恒男事務局員の報告と安部愷三監査委員の監査報告を受け、原住連財政が正確かつ健全であることを確認した。

6、幹事代表委員会は、筆頭代表委員・事務局長交代を含む原住連の今後の在り方について議論した。

以上